

イ ゲートキーパー研修の更なる充実

これまで以上にゲートキーパーの養成を推進するため、開催方法や参加対象者、研修内容等について工夫していきます。この一環として、市民が集う場である図書館等と連携し、より市民が参加しやすい場所でのゲートキーパー養成研修を開催します。

[計画 79p 7 重点的な取組⑦関係者や関係機関との連携、相談窓口の連携、ゲートキーパーの養成 No.112 を一部修正]

ウ 同世代ゲートキーパー養成研修の実施

コロナ禍に直面の機会が減少した高校生や大学生等の若者を対象としたゲートキーパー養成研修を開始し、若年層の支援充実に図ります。

[計画 79p 7 重点的な取組⑦関係者や関係機関との連携、相談窓口の連携、ゲートキーパーの養成 No.121 として追加]

エ SNSを活用した児童生徒向け相談窓口の実施（追加）

児童生徒に対し、LINE 公式アカウント及び Web チャットを用いて、いじめを含む様々な悩みの相談を受け、必要なアドバイスを行うなど、双方向でのやりとりを通して、悩みの解決を図ります。併せて、いじめ等を受けている、もしくは目撃した児童生徒が、匿名で報告・連絡できる窓口を設けます。

[計画 79p 7 重点的な取組⑦関係者や関係機関との連携、相談窓口の連携、ゲートキーパーの養成 No.122 として追加]

オ 年齢層別の動画放映やSNS等の活用による啓発活動の強化

自殺対策強化月間である3月に合わせて、若年層・中高年層それぞれに向けて作成した啓発ショート動画を活用して、引き続き、JR小倉駅大型ビジョンやYoutube 広告等による放映を実施します。

また、北九州市公式 SNS 等を活用して、自殺予防に関する情報の発信を行っていきます。

[計画 72p 重点的な取組⑥生きやすい地域づくり（市民への普及啓発 No.76 を一部修正）]

②中高年層に対して

ア 勤労者のメンタルヘルス研修の充実

引き続き、民間事業所や商工会議所、地域産業保健センターと連携し、勤労者の心の健康づくりのための講演を実施します。

イ 年齢層別の動画放映やSNS等の活用による啓発活動の強化（再掲）

ウ ゲートキーパー研修の更なる充実（再掲）

エ 暮らしとこころの総合相談会の更なる充実

コロナ禍において自殺の要因となり得る様々な問題が悪化した可能性があるとしており、今後の影響も懸念されています。相談者が抱える様々な問題を1ヶ所で相談できるワンストップ型の相談会（暮らしとこころの総合相談会）について、図書館など市民が集う場での開催や、日中・平日の開催とは異なる年齢層の参加が期待される、夜間や休日の開催等に取り組んでいきます。

[計画 79p 7 重点的な取組⑦関係者や関係機関との連携、相談窓口の連携、ゲートキーパーの養成 No.107 を一部修正]

③高齢者層に対して

ア ゲートキーパー研修の更なる充実（再掲）

イ 暮らしとこころの総合相談会の更なる充実（再掲）

④自殺未遂者に対して

ア 北九州市こども・若者のいのちを守る対応チームの設置（再掲）

⑤うつ・アルコール依存症に対して

ア ゲートキーパー研修の充実（再掲）

⑥生きやすい地域づくり（市民への普及啓発）に対して

ア ゲートキーパー研修の充実（再掲）

イ 年齢層別の動画放映やSNS等の活用による啓発活動の強化（再掲）

⑦関係者や関係機関との連携、相談窓口の連携、ゲートキーパーの養成

ア 北九州市こども・若者のいのちを守る対応チームの設置（再掲）

イ ゲートキーパー研修の充実（再掲）

ウ 同世代ゲートキーパー養成研修の実施（再掲）

エ 暮らしとこころの総合相談会の更なる充実（再掲）

オ 重層的支援体制整備事業の本実施

重層的支援体制整備事業は、複雑化・複合化する地域住民のニーズに対応し、「包括的な相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を柱として、「多機関協働による支援」や「アウトリーチ等を通じた継続的支援」を強化し、これらの一体的な実施を目指すものです。

本市においては、包括的な相談支援体制の基盤である「いのちをつなぐネットワーク担当係長」を多機関協働の中心として位置付け、新たな機能である「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」や「参加支援事業」をモデル的に導入するなど、効果や課題の検討を重ねてきました。これらの検討を踏まえ、令和7年度より全区での本格的な実施を始めます。

[計画 79p 7 重点的な取組⑦関係者や関係機関との連携、相談窓口の連携、ゲートキーパーの養成 No.119 を一部修正]